



# メタバース×AI「i.human」

メタバース×AIで今より一歩先へアップデート

# i.humanとは

---

i.Humanとはメタバース、AI、Web3を融合した新しいシステムです。

i.humanを使うことでメタバース×AI×ブロックチェーンの技術を駆使して、御社のサービスをアップデートします。

エンターテインメントから教育、医療など、さまざまな業界に革命をもたらします。

御社のビジョンを現実にするために、「i.human」をぜひお試しください



**i.human**

**no|solutions**

# i.humanのプロダクトについて

アバター生成技術と自然言語処理技術を組み合わせたプロダクトである『対話型の生成系AIのAPI機能を使った音声認識』により、リアルな表情で双方向に会話ができる3Dアバターとの対話アプリケーションの開発が可能です。

これにより、ユーザーはアバターと自然にコミュニケーションを取ることができ、よりリアルなヒューマンインターフェースとの体験を楽しむことができます。



# i.humanの特徴

---

<b>最新技術の融合</b>	メタバース×AI×web3の技術を融合し、新しい事業を生み出すことができます。
<b>AIとアバターの結合</b>	AIとアバターを当社独自技術の融合で、ユーザーとストレスなく会話ができます。
<b>音声認識</b>	音声認識によりリアルタイムに会話することができます。
<b>画像認識</b>	1方向からの撮影で立体的なアバターが作成でき、動かすことが可能です。
<b>リップシンク</b>	口の動きをリアルにリアルタイムで再現し、自然な顔の表情のアバターが作成可能です。
<b>高い操作性</b>	アバター生成機能と自然言語処理機能を備え、直感的な操作性と高い利便性を提供します。

# オリジナルキャラクターの作成も可能

- 様々なコンセプト、利用シーンに合ったキャラクターを作成
- キャラクターや背景のカスタマイズ(キャラクターの装飾)
- プラットフォーム上でキャラクターやグッズの販売が可能



# i.humanの活用シーン

## エンターテインメント



メタバース上でのAIを対話することで没入感のあるエンターテインメント体験を生み出します

## オンラインゲーム



ゲーム内の世界では、ユーザーの行動や選択に基づいて動的に変化するゲームを作れる

## AI講師



AIが生徒一人ひとりの状況やニーズを把握し、一人ひとりにパーソナライズな教育が可能となります

## 教育関連



AIが学習スタイルを理解し、個々の学生の進捗をサポートすることによりカスタマイズされた学習体験ができます

## Vtuber



AIが個性的なキャラクターを生み出し、成長と進化を支えます。リアルタイムインタラクションでファンと深いつながりをつくれます

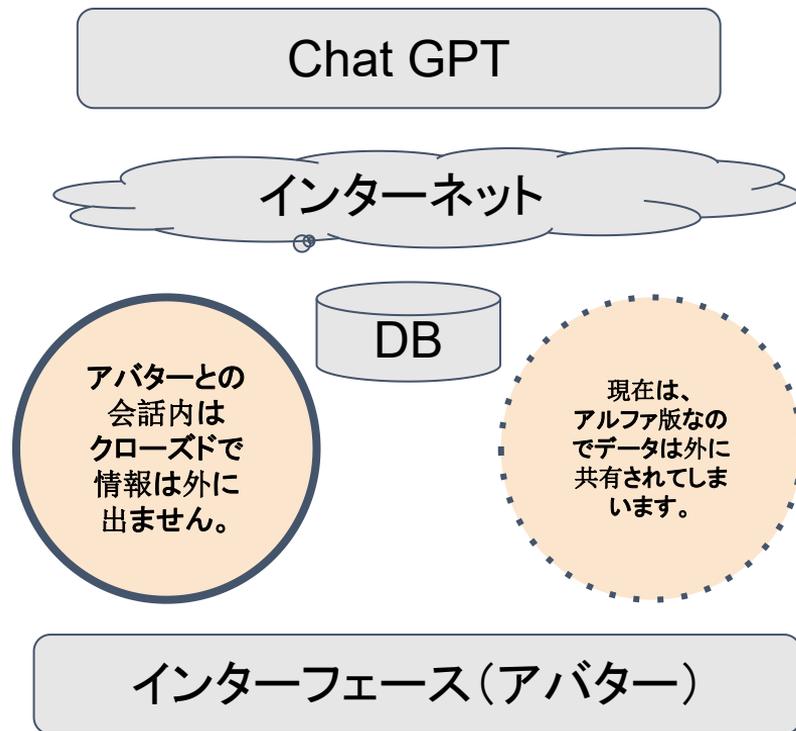
## NFT化



デジタルアート、音楽、不動産、AIの行動など、ユニークなデジタルアセットをNFTとして作成し、所有、販売することが可能になります

# i.humanの技術情報

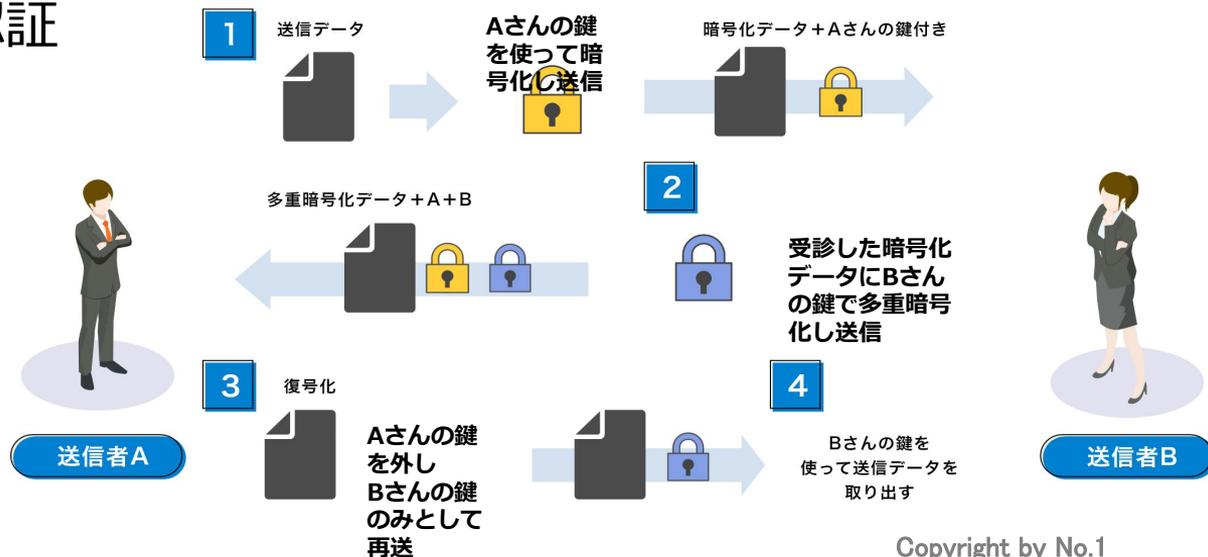
- 個別で収集する個人情報や企業機密など流出してはいけない情報はAPIの手前でシステム内でセキュアに管理します。
- すべての情報をAPI先（生成AIシステム側）に送らず、データの取捨選択をシステム側で行います。



# 高度なAI対策が施されたシステム

## 多重暗号通信による認証

- ・ 秘匿通信
- ・ 秘匿保管
- ・ 可変リクエスト

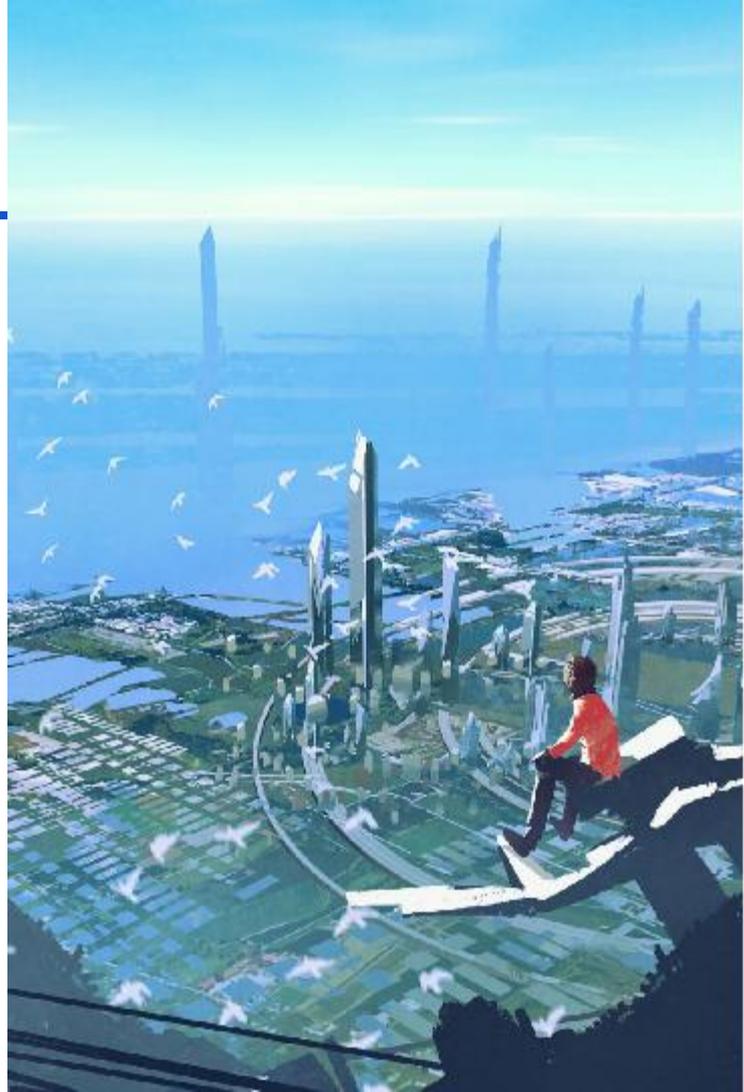


Copyright by No.1 Solutions Inc.

特許第7276737号

# 会社概要

- 会社名 : 株式会社ナンバーワンソリューションズ  
代表者 : 取締役会長 鈴木壮治  
代表取締役 面来哲雄
- 設立 : 2002年7月9日  
資本金 : 5,000万円  
社員数 : 85名(2023年4月)  
所在地 : 東京都目黒区東山3-15-1 出光池尻ビル7階  
連絡先 : 03-6412-8470  
主事業 : ブロックチェーン開発  
システム開発・教育事業
- 加盟団体 : 一般社団法人ブロックチェーン推進協会  
一般社団法人日本セキュリティートークン協会  
一般社団法人情報セキュリティ研究所



ご相談・お問い合わせ先

---

株式会社ナンバーワンソリューションズ

[Info@no1s.biz](mailto:Info@no1s.biz)

TEL:03-6412-8470

担当：堂本（どうもと）

# セキュリティの対応

---

## 1. フィッシング詐欺及び中間者攻撃を受けない

サービスが注目され、注目度が上がってくるとフィッシング詐欺等のリスクも増加します。[セキュアなログイン認証機能](#)によりそのリスクに備えます。

## 2. 量子コンピュータ耐性を持つ暗号技術

既存のブロックチェーン技術の潜在的課題である、[量子コンピューターによる暗号解読やハッキングのリスク](#)に備えます。

## 3. 低コストで高速なトランザクション処理が可能

分散型ストレージの安全で効率的な利用により、サーバ費用など[低コストで高速なトランザクション](#)が可能です。



# AIによってできるようになったこと（メモ）

---

- ・素人でも悪意・不正なツール(ハッキング・クラック行為)を簡単に作れる

→リスト攻撃・フィッシングサイト

- ・専門知識が無くても専門家レベルの統計・集計・分析ができる

→数学的な学習AIなら傾向を見て本筋を当てる機能が実現可能

例：公開鍵→秘密鍵を当てるやマイニングで0が並ぶ数を見つける

- ・わずかな情報でその人に成りすませる

→キャラのセリフテキスト・画像・容姿のワード・音声(3秒程度)

→ビデオ通話でAIを使ったオレオレ詐欺が増加傾向

→音声による声帯認証は、AI音声で突破済み

→指紋認証は、リスト攻撃突破済み

→顔認証は、3Dプリンタで突破済み

- ・公開された電子情報で探偵ごっこができる。

→外部システム間のツイート・コメント・レビューの関連付けが可能

# AIの登場によるWEBシステムの危機（メモ）

---

- ・ リクエスト・レスポンスのデータ学習による暗号の解読危機  
→ ブロックチェーン・HTTPSの通信を根底から揺るがす脅威
- ・ 1リクエストの傾向だけで個人情報の特特定される危機
- ・ 経済の傾向がAIの返答で左右されやすくなる。  
→ 価格破壊や価格急騰が狙って起こしやすい

# SYNチェーン系のAPIの特徴

---

- ・ 可変リクエスト
- ・ 多重暗号通信
- ・ jsベースの画面出力 → HTML出力がjs処理が入るためAIによる分析が困難

対AIにおいては、外部から不正な学習を考えた場合に非常に困難な環境